

授業科目

英語II [今井 理恵 (木曜2限NR)]

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 今井 理恵 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 看護 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |

授業の概要

様々なジャンルを採り上げた教材を用いて、保健・医療・福祉・スポーツに関する共通のテーマの学習を通じて英語の4技能の伸長をはかるとともに、自ら考え判断し、課題を遂行する力を養う。

授業の目的

1. 実生活において、必要な時に必要な相手と言語（日本語・英語）を用いて積極的に関わるため。
2. 英語を使って学習する主体として意欲的に学ぶため。
3. 高校での英語学習を基にさらに英語の4技能の伸長を図るため。
4. 各専門分野に関わる基礎的な情報や考え（他者の意見・判断）を的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うため。
5. 汎用的能力のうち、専門教育においても必要となる批判的思考力を養い、社会生活においてその力を活用できるようにするため。
6. 生涯にわたって、各専門分野において必要な時に必要なだけ、自ら外国語を学ぶことのできる自律的な学習者となるため。

上記「授業の目的」1～6は、下記「学習目標」の1～6に対応する。

学習目標

1. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。
2. 各学科の専門教育の特色を生かして、専門における基礎的な語彙、表現を学ぶ。
3. 英語の4技能のうち「理解する能力（聞くこと、読むこと）」を「表現する能力（話すこと、書くこと）」に関連付けた活動（統合型の言語活動）を求める「パフォーマンス課題」を通して、4技能をバランスよく習得する。
4. 習得した知識・技能を活用して思考・判断して表現する「パフォーマンス課題」に取り組む。
5. CTスキルズを駆使してテキストを読み、CT発問やCT課題に取り組む。
6. 読解や課題遂行において、問いを自己関連付けすることで、主体的学習・問題解決型学習に取り組む。
7. 視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを有効に活用して基本的な言語活動を実際に体験する。
8. 省察的学習を助ける「ポートフォリオ」を活用する。
9. 辞書の活用、図書館やインターネットなどを広く利用するなど学習の仕方（Study Skills）を学ぶ。
10. ペア・ワーク、グループ・ワークに適宜取り組み、協同学習に積極的に参加する。
11. 自分の能力・適性や興味・関心に応じた個別学習の機会を授業内外で拡大するための宿題やリポート課題に取り組む。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|--|---|-------|
| 1 | Unit 8: Weather and Global Warming (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 2 | Unit 8: Weather and Global Warming (2) | Conversation, Word Building, and Grammar Points | 今井 理恵 |
| 3 | Unit 9: Rycycling (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 4 | Unit 9: Rycycling (2) | Conversation, Word Building, and Grammar Points | 今井 理恵 |
| 5 | Unit 10: Commuting (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 6 | Unit 10: Commuting (2) | Conversation, Word Building, and Grammar Points | 今井 理恵 |
| 7 | Unit 11: Crumbling Britain (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 8 | まとめ(1) | Exercise and Critical Thinking Question | 今井 理恵 |
| 9 | Unit 11: Crumbling Britain (2) | Conversation, Word Building, and Grammar Points | 今井 理恵 |
| 10 | Unit 12: Advertising (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 11 | Unit 12: Advertising (2) | Conversation, Word Building, and Grammar Points | 今井 理恵 |
| 12 | Unit 13: Technology and Us (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 13 | Unit 13: Technology and Us (2) | Conversation, Word Building, and Grammar Points | 今井 理恵 |
| 14 | Unit 14: Cars: Transport or Status (1) | Reading, Writing, and Text Comprehension | 今井 理恵 |
| 15 | まとめ (2) | Exercise and Critical Thinking Question | 今井 理恵 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|--------------------------------------|---|-----|-------|----------|------------|
| 教科書 | English Indicator 2 Pre-Intermediate | Terry O'Brien、kei Mihara、Shuyo Tatemoto 他 | 南雲堂 | 2016年 | 2,000円+税 | |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | パフォーマンスワークシート、ポートフォリオ | | | | | 授業時に適宜配布する |

評価方法

1. 中間テスト・期末テスト：筆記により、知識・理解を確認する。（40）
2. パフォーマンス評価：実際に習得した知識・技能を使って、課題を遂行できるかを確認する。（30）
3. 課題の提出：実際に仕上げたパフォーマンス作品（ライティングの英語による作文・レポート、スピーキングの音声や映像など）のできばえを判定する。（20）
4. ポートフォリオの提出：自分の学習の軌跡について、自己評価するとともに、評価者（担当教員）に伝える。（10）

履修上の留意点

- ・上記2、3、4については、授業にてその都度め切を示すため、上記評価方法に対応するには毎時間の授業出席が大前提となる。さらに、上記2においては、付け焼刃で行うことは不可能であり、学習者本人が取り組まなければならないため、授業出席に重点を置く意識が求められる。
- ・その他は、授業時に示す。

オフィスアワー・連絡先

J棟 403研究室
rie-imai@nuhw.ac.jp